

教育研究データ

1. 氏 名	橋本 圭子		
2. 生 年 月	1965 年 9 月		
3. 取得学位	修士 (医療福祉学)		
4. 教育業績			
教育上の能力に関する事項	年 月	概 要	
(1) 教育内容・方法の工夫	2012 年 4 月	①授業には積極的にアクティブラーニングを取り入れ、問題意識を他者と共有したり、他者の意見から新たな発見をしたりする機会を多く持つ。 ②オフィスアワーにおいて、授業内容等の質問に応じている。 ③社会福祉士・精神保健福祉士の国家試験について、個別の質問、受験対策に関する相談に応じている。	
5. 研究業績			
(1) 著書	単著 共著 の別	発行の年月	発行所
①『医療福祉総合ガイドブック』 2008 年度版～2011 年度版	共著	2008 年 4 月 ～2011 年 4 月	医学書院
②『ソーシャルワーク演習のための 88 事例集 －実践につなぐ理論と技法を学ぶ』	共著	2013 年 3 月	中央法規出版
(2) 学術論文	単著 共著 の別	発行の年月	掲載紙および巻/号, 頁
①「通所介護サービス利用者から見る事業所 選択の基準－利用者の選択する『価値』」	共著	2008 年 3 月	『広島国際大学医療福祉学科紀要』第 4 号, p. 33-49
②「公共の場で寝起きたとしてホームレス を逮捕したマイアミ市の行為がアメリカ合衆 国憲法修正第 4 条の『不合理な逮捕・押収の 禁止』に反するとされた事例 (<i>Pottinger v. City of Miami</i>)」【判例研究】	単著	2013 年 12 月	『広島文教女子大学紀要』第 48 巻, p. 85-95
③「アメリカにおける反ホームレス法の憲法 適合性 (1)」	単著	2016 年 3 月	『広島法学』第 39 巻第 4 号, p. 2-18
④「物乞い条例の合憲性－Reed 判決は『セント ハード』を生む【論文紹介】」	単著	2018 年 3 月	『人間福祉研究』第 17 号, p. 25-35
⑤「アイダホ州ボイシ市のキャンピング条例 および治安紊乱条例が合衆国憲法修正 8 条の 『残虐で異常な刑罰』に違反するとされた事 例 (<i>Martin v. City of Boise</i>)」【判例研究】	単著	2019 年 12 月	『広島文教大学紀要』第 54 巻, p. 87-96
(3) 研究・作品発表	発表の年月	発表学会等	
①口頭発表「通所介護サービス利用者から見る 事業所選択の基準－利用者の選択する価値」	2007 年 9 月	日本社会福祉学会 第 55 回全国大会	
②口頭発表「実習現場と教育現場の協働による 実習指導者育成の取り組み－広島県精神保健 福祉士協会実習指導者研修会からの検証」	2009 年 6 月	第 8 回日本精神保健福祉士学会	
③口頭発表「アメリカにおける反ホームレス 法の現状と憲法上の課題」	2017 年 10 月	中四国法政学会第 58 回大会	

(4) 所属学会

①日本社会福祉学会

②日本社会保障法学会

③関西アメリカ公法学会

④中四国法政学会

⑤社会調査協会